

※発言をそのまま書き起こしたデータを基に、個人情報に関する部分を削除し、文意が通るように修正を行っています。

【意見共有】

各グループからの発表・質疑応答

(総合 F) それでは、これから全体での意見共有を始めたいと思います。発表は、3回目のグループワークのファシリテーターの方をお願いしたいと思います。

今日は第1回ということで、「原子力ムラとはなんだろうか?」というテーマにしました。そもそも皆さんがどういう印象を持っておられるのか、どんなイメージを持っておられるのか、そういうことをオープンにして話しましょうということで、グループワークをしていただきました。

特徴的なご意見、共感の理由など、皆さんのお話の様子を共有したいと思います。大変申し訳ないのですが、1班3分をお願いします。3分ではとても無理というのも重々承知の上です。こういう状況をちゃんとデータに起こして、皆さんにも共有いたしますので、お許してください。その後、質問が5分ということで、ぜひ、いろいろお考えいただければと思います。

それでは、A班さんからいきたいと思います。よろしく願いいたします。

(A班代表) 結局、まとまったものが7つありました。

①が〔原子力発電推進団体〕。これについては、確かに思う。甘い汁を吸うことに対するねたみがある。日本人の行動原理だと書いてあります。推進派だと思われる、共感する。そういうことが書いてあります。

②は〔自然エネルギーの反対ムラ〕。これは意味が分かりにくいのですけれども、原子力ムラに対する、反対の、自然エネルギーのムラのことを指しています。同感です。間違った不純な動機。動機が不純だと不幸な結果が起きる。②に反対、自然エネルギー推進は別物である。言葉のスローガンだけである。必ずしも反対ではない。太陽光発電を使っているムラびともいる。

何分でしたっけ?

(総合 F) 3分です。

(A班代表) もう、これを読んでいくしかないですね。

③〔専門的集団〕であるということ。④〔原子力専門外から見た反原発の意思表示〕であるという意見。⑤〔利益関係が強い〕。⑥〔原子力関係の仕事に就いている人々のコミュニティ〕であるということ。⑦〔不透明〕である。

ついているコメントの多いものを見てみると、〔不透明〕にコメントが多いです。

この 7 つについて、反対という意見は特別なくて、同感であるという意見が多かったです。(拍手)

(総合 F) ありがとうございます。

まず、他のグループの方で質問がある方はいらっしゃいますか？ もう少しここは説明してほしいなというところ。

では、A 班の方で、もう少し説明しておきたいところがありますか？

「自然エネルギー反対ムラ」という意見に対して、皆さんで話し合いが盛り上がっていたのですが、ここを少しご説明いただければうれしいなと思います。原子カムラというのは、自然エネルギーに反対する人たちのムラのように見える、という意見ですか？

(A 班代表) いや、原子カムラというものがあって、それに対して、反原子カムラ、自然エネルギーを使ったムラがあるという意見です。

—— すみません、それは違うんじゃないですか。私は内部の人間だから分かるのですが、原子カムラの中には、自然エネルギーは駄目だと思っている人が結構いるという意味だと思いますよ。

—— それを書いたのは私なのですが、今、おっしゃっていただいたとおりです。

太陽光とか、風力とか、水力とか、ありますよね。そういう化石以外のもの。それを推進していきたいと思っても、なかなか原子カムラの人たちが力を持っているものから、あとは電力会社も力を持っているものから、なかなかそれができないのではないかとこのことをイメージで書かせていただきました。

(総合 F) ありがとうございます。

—— それだと、私が言ったのと違いましたね。

(A 班代表) だから、意味合いとしては、原子カムラに対して、そういうものがあると。それが原子カムラの妨害によってうまくいかないということです。

(総合 F) 一般の方の視点で、原子カムラというと、自然エネルギーに反対する方たちの団体のような印象があるということで、最初にお書きになったと。それに対して、いろいろなご意見が出ていたように見受けられました。

(A 班代表) そうですね。ただ、あいまいな書き方になってしまいましたけど。

(総合 F) 今の、②〔自然エネルギー反対ムラ〕に関して、A 班の方で何かご意見があれば言っていただけますか。

—— 私はそこにコメントを書いたのですけれども、原子力だからといって、必ずしも反対しているというスタンスではないと。実際に同僚で太陽光発電を乗せている人もいますし、そういう点では必ずしも対立軸として存在するというものでもないです。

(総合 F) ありがとうございます。というご意見の方もいらっしゃるということです。ここについては、いろいろなご視点が出ていたと思います。

もうひとつ、ここは⑦〔不透明〕というところで盛り上がっていたのですが、原子力に携わっている方たちの動きが外からは見えにくいというような印象があるということです。A 班の方、何かコメントをいただけますか。

—— やはり、我々に伝わってこないのですね。一般の我々には何をやっていらっしゃるのかということが伝わってこないのです。

(総合 F) 何をやっているか分からない、伝わってこないのです、不透明だということです。ありがとうございます。

今のお話に何かご意見はありますか。はい、ありがとうございます。

A 班では、原子力発電推進団体である、自然エネルギー反対のように聞こえる、専門家集団である、専門家以外から見たら反原発の意思表示、利害関係が強い、原子力関係の仕事に就いている人々のコミュニティ、不透明、というような意見が出ました。A 班の方、ありがとうございます。(拍手)

それでは、B 班にいきましょう。よろしくお願いします。

(B 班代表) 〔外の方からのイメージは閉鎖的〕、〔閉鎖的〕、〔ブラックボックスが多い〕というご意見が一番多かったです。市民の方でも、ある程度閉鎖的になってしまうのは仕方ないことだと思う、という意見もございました。閉鎖的だというワードに、私自身も賛成です。高度な技術だから、理解できない人が多いのは当然。教育の機会が少ないから、どうしても閉鎖的に思ってしまうのではないのでしょうか。閉鎖的なイメージは確かにあると思う。一般の方には触れる機会がない。閉鎖的だから「ムラ」という言い方をしたと思う。市民にとって分かりやすい窓口がない。隠ぺい体質である、閉鎖的である。というのが①に対するコメントです。

次に、〔産・官・学の利益団体〕、〔利権が多そう〕、〔原子力立地の行政（メリットを受け

ている)』というご意見に票が集まっていたので、これについて話しました。不透明な利権が動くという点でムラと言われるのはそうだろうと思う、という専門家の方の意見もありましたし、巨大産業は利益を絡むものだという専門家の方もいました。一般の方の意見としては、悪いイメージの中に利益のために推進する人たちというニュアンスがあると感じています。原発事故が起こったときのことをあまり研究していなかったのではないかと。利益を生むものに対して群がり、不利益なものは隠して排斥しているのではないかと、という意見があります。

3番目は、[専門家の集まり]、どの班でも専門家の集団というご意見は絶対に出たと思うのですが、それから、[メーカー、学者、行政]、[研究者と技術者]という意見について話し合いました。よく分からないから、専門家しか分からないということ。専門家の集まりだけではムラにならないと思う。他の業界、技術も「ムラ」になる。そういう意見もございました。専門家といいながら、推進側の専門家であり、事故の対応に対しては専門家はいなかったのではないかとという意見もありました。

[ムラとムラの外との乖離が大]という意見が4番目です。ムラを中心とムラから遠く離れたコミュニティとの乖離が大きいことは予想できるが、ムラの境界がはっきりしないので、境界付近のコミュニティ同士ではそれほどではないのではないかと。

あとは、⑤[原子力発電を推進する側の人たち]の集まりではないかということは、皆イエスということでした。(拍手)

(総合 F) ありがとうございます。こちらの班でも[閉鎖的]というお話が出ていて、A班の[不透明]と似た視点のコメントだったと思います。

いろいろなご質問があると思います。もう少し説明をしてほしいとか、そういうご質問があればと思いますが。

—— すみません、巨大産業は何か、と書いてあるのですが、先ほど聞き取れなかったのです。

(B班代表) 「巨大産業は利益が絡み、他の分野も同じ」というご意見です。

(総合 F) ②[産・官・学の利益団体]というご意見に対するコメントですね。「巨大産業は利益が絡み、他の分野も同じ。イエス」というのはどういう意味でしょうか？

(B班代表) 専門家から見たら、原子力というのは巨大産業なのですから、利益が絡んで当然であるということです。それを肯定していると。

(サブ F) 原子力だけではなくて、他の分野でも巨大産業は利権が絡むのは同じではない

か、ということです。

(総合 F) 原子カムラだけにそういう性格があるわけではないのではないか、ということですね。ありがとうございます。

〔閉鎖的〕というところをもう少し質問させていただきたいのですが、A 班の〔不透明〕というご意見と似ている話なのかなと思うのですが、ただ、こちらのほうには、先ほど教育の機会が少ないから、というお話がありましたね。

(B 班代表) 教育の機会が少ないというご意見、一般の方に窓口がないというご意見、そういうコメントが 3 つくらいあります。

(総合 F) 専門家の方は、教育の機会が少ないと思っておられるということですね。

そうすると、この辺りに関しては、専門家と市民の方は意見が分かれたということでしょうか？

—— 触れる機会がないという意見は、一般市民からも、関係者の方からも、両方出ました。

(総合 F) 情報に触れる機会が少ない。市民側から見てもそういう情報がないので、閉鎖的に見えるのは仕方がないということですね。

—— 仕方がないし、事実。

(総合 F) はい、ありがとうございます。

あとは、〔ムラとムラの外との乖離が大〕という意見にコメントが集まっています。こういう結果起きてくるということだと思うのですが、ここで一番強調したいところをもう一度お話いただけるとありがたいのですが。

—— 私が申し上げたのは、ムラというものの境界がはっきりしていないということ。それから、ムラを中心と、ムラから遠く離れたところの乖離は確かに大きい。でも、ムラの境界ははっきりしていないのですけれども、境界付近のコミュニティの間のギャップはそれほど大きくないのではないかなと。〔乖離が大〕というご意見に対して、条件付き反対意見を述べさせていただきました。

(総合 F) ということは、原子カムラとそうでないところとの乖離に関しては、どこが原子カムラかという境界がはっきりしていないということもひとつあると。中と外の差は大

きいけれども、そのはっきりしていない境界の辺りだと、

—— それほど乖離していないのではないか、ということです。

(B班代表) でも、「ムラとムラの外との乖離大」に関しては、別に境界付近の話をして
いたわけではないのです。原子カムラと外と、という議論だったのです。

お一人だけ、境界付近のフuzzyな部分のことを話されていたということです。

(総合F) 分かりました。ありがとうございます。

皆さんにとって、どこが原子カムラの中心で、どの辺りがフuzzyな部分か、というこ
とをしっかりと話し合うのも大事なことなのかなと思って、今伺っておりましたが。何かそ
れに関して、もう一言ありますか？

—— 原子カムラということに対する定義づけを最初に明確にしなかったので、それに対
する価値判断とか、いろいろな評価が出てしまっ。最初にどういう人が原子カムラの人
たちなのか、ということをはっきり定義していないことが、最大の問題点かなと思います。

(総合F) ありがとうございます。そうすると、ムラびとがどんな人かということをも
少しはっきりさせながら、ムラとそうではないところにどのような乖離があるのか。ある
いは、フuzzyな部分はどういうことなのか。そういうところを話したほうが、皆さんの
頭がすっきりするのではないか、ということですね。

—— はい。

(総合F) そうすると、[閉鎖的] というところについても、どうしたらそれをつなげる
ことができるのか、そういうことが見えてくる。そういうお話だと理解すればよろしいで
しょうか。私も頭の整理ができてきました。ありがとうございます。では、B班の皆さんに
拍手をお願いします。(拍手)

それでは、お待たせしました、C班の方、お願いします。

(C班代表) C班は、最終的に6つの意見を抽出しています。

① [マスコミの誘導がある] という意見。② [原子力の専門家の集まり] でしょうとい
う意見。③ [閉鎖的] ですねという意見。言葉のイメージとして、原子カムラは④ [何と
なく悪いイメージ] ですね、というご意見。それから、先ほどの専門家の集まりと同じな
のですが、⑤ [原子力の業界] を表す単語ですねというご意見。6つ目に、原子カムラは
[外の話を開かない] というイメージがあるという意見がありました。

特に議論が深まったのが、①のマスコミがよく使っているという話なのですが、マスコミがあまり定義しないで使ってしまうので、イメージだけが先行しますねという話がありました。使われ方として、マスコミしか使っているのを見たことがないという意見もあったのですが、マスコミといってもいろいろありますよねということで、あまり大手の新聞は使っていないで、例えば週刊誌やウェブサイトによく使っている単語だという話がありました。

③〔閉鎖的〕についても議論があったのですが、一般の人から何をやっているか見えませんというコメントがあります。一方で、専門家としては、いろいろ発信している、事故後はこれでもかというくらいちゃんと情報は出しているんだよという話がありました。一般の方からすると、そもそもかみ合っていない。本当に聞きたいことに対して、的確な答えがなくて、消化不良に陥るといような意見がありました。閉鎖的といっても、専門家の閉鎖的のイメージと、一般の方の閉鎖的のイメージが少し違うのかなというところがありました。

④〔何となく悪いイメージ〕についてです。マスコミが使うということで、悪いイメージで使っている例が非常に多いということです。マスコミが、キャッチコピーとして使い勝手よく使っているという意見がありました。先ほどの話とも同じなのですが、特に定義がないということで、悪いイメージでひたすらマスコミが使っているという話がありました。

最後に、⑥〔外の話を受けない〕ということで、反対派と賛成派の二極対立になってしまっているのではないかと。今後、そういった二極対立を越えていかなければならないのだけど、難しいですねという話がありました。以上です。(拍手)

(総合 F) ありがとうございます。皆さん、この中で、特にどの話を聞きたいですか？

—— マスコミが使っているという話でしたが、ムラという言葉は原子力に限らず他にもあるはずなので、本当かどうかは分かりませんが、事件や事故が起きた後にムラという言葉が出てくると。そうすると、他の事件・事故もそうなのかという検証をしないといけないと思うのですね。

それともうひとつ、ムラという用語自体は原子力の中ではあまり使っていないのですが、ムラという意識は中にいる人間はあったわけですよね。だから、事件・事故があつて表に出たということだと思います。

(総合 F) 原子力の専門家の中ではそういう言葉は使わないけれども、そういうふうに社会が使っているという意識はあったということですか？

—— 社会は、事件・事故が起こるまでは使わないですから。

(総合 F) そうか、自分たちとしては認識はあったということですね。

—— コミュニティという意味では、認識がありました。

(総合 F) 原子力のコミュニティという意味で、認識はあったと。ただ、原子カムラという、何かマイナスのイメージ、ネガティブなイメージで使うのは、事故などがあった後に使うのではないかと。

—— そうです。

(総合 F) C班ではマスコミの話がかなり出ていましたけれども、今のご意見を伺って、どんな感じでしょうか？

C班の中では、事故の後にマスコミなどがそういうネガティブなイメージを誘導するために使うとか、そういうところでお話をされていたと理解すればいいのでしょうか？

—— キャッチコピーという言葉が出たのです。今までも原子力に携わっている人は「原子力業界」と呼んでいたり、しがらみと言っていたり、何となく塊の意識はあったと。だけど、原子カムラという言葉が本当にキャッチーで、皆にも一気に分かるような言葉なので、すごく拡散するのではないかと、という話になっていました。

(総合 F) ありがとうございます。そうすると、今回の福島事故の後もあります、それまでの多様な事故の全てのことを含めて、という理解でよろしいのでしょうか？

—— いや、福島の前は原子カムラという言葉はあったのかな？ 私は記憶がないんですけど。

(総合 F) 福島の前はあまり原子カムラという言葉はマスコミなどでも使われなかったのではないかと。

—— はい。内部では、しがらみというようなことは言ったり、多少そういうイメージはあったけど、ムラという言葉はあったかどうか。ちょっと私の記憶にありません。

(総合 F) 分かりました。

マスコミの中でも、特にこの福島事故の後、ネガティブなイメージを強調するために使っているのではないかとというようなご意見もありました。ありがとうございます。